

## 文学研究科

### 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー

#### 【教育目標】

文学研究科は、大阪大学の教育目標を承け、また自由と独創を重んじ広く社会に開かれた学問所であった「懐徳堂」の精神を受け継いで、多様な個人や社会集団が生み出してきた事物・思考・習慣など、精神文化と物質文化の両面にわたる人間の営為を探求する人文学研究を行っています。現代世界が大きな転換点を迎えている今日、こうした営為にたいする理論的・歴史的・実践的考究は必要不可欠であり、社会のなかで人文学が果たす役割はますます重要なものとなっているとの認識に基づいて教育を行い、次のような人材の育成を目標とします。

1. 博士前期課程では、深い専門性と豊かな構想力をもって新たな領域で活躍でき、高い言語能力とデザイン力を備えた、研究者・高度専門職業人を育成します。
2. 修士課程では、分野横断的な発想に長け、現代社会が生み出す諸問題の解決に取り組む実践的能力を持ち、高い言語能力とデザイン力を備えた高度専門職業人を育成します。
3. 博士後期課程では、深い専門性と豊かな構想力をもって新たな領域を開拓し、幅広い教養と人文学的知を背景に日本および世界で活動できる、研究者・高度専門職業人を育成します。
4. 海外の多くの大学と交流協定等を利用して国際連携に努め、教育の国際化を進めて、優れたグローバル人材を育成します。

#### 【ディプロマ・ポリシー】

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、文学研究科は以下の能力や学識の修得を各課程における学位授与の要件とします。

##### 1. 博士前期課程

- 専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、文献を正確に読解する能力
- 国際的に活躍できる高い言語運用能力
- 明解な論旨で一貫した構成の論文をまとめる確かな論述能力と豊かな文章表現力
- 多様な文化・社会の事象に対応する深い専門性と幅広い人文学的教養

##### 2. 修士課程

- 領域横断的な研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、新しい視点で解釈、編集を行う能力
- 国際的に活躍できる高い言語運用能力
- 明解な論旨で一貫した構成の論文をまとめる確かな論述能力と豊かな文章表現力
- 現代社会の諸問題に対応できる専門性に基づいた幅広い人文学的教養と実践的能力

##### 3. 博士後期課程

- 自立した研究者に必要な深い学識と高度な研究能力
- 研究者として国際的に活躍できる高い言語運用能力
- 研究資料である文献を正確に読解し、的確に分析・解釈する能力
- 先行研究を広く踏まえつつ、独創的なテーマや研究方法を生み出す豊かな感性と優れた探究能力
- 明晰で独創的な論文を執筆する論述能力と文章表現力

### 【カリキュラム・ポリシー】

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、文学研究科は以下の方針でカリキュラムを編成します。

1. 博士前期課程では、所属する専門分野の講義、演習を通して当該分野に必要な専門知識と研究能力、ならびに国際的に発信する言語能力を養います。また、専門分野以外の科目を選択して履修することにより、当該分野の研究状況を広い視野から把握できる総合的な人文学的教養と知識を身につけます。また、年次ごとに研究計画書と研究報告書を作成して、研究を主体的に構想・実行する能力とデザイン力を高め、高度な専門性を備えた修士論文を完成させます。
2. 修士課程では、所属するコースの講義、演習を通して当該コースに必要な研究能力と実践的能力、ならびに国際的に発信する言語能力を養います。また、当該コース以外の科目を選択して履修することにより、現代文化の諸問題に対応できる幅広い人文学的教養と知識を身につけます。また、年次ごとに研究計画書と研究報告書を作成して、研究を主体的に構想・実行する能力とデザイン力を高め、応用的で領域横断的な修士論文を完成させます。
3. 博士後期課程では、所属する専門分野の講義、演習を通して当該分野に必要な深い学識と高度な研究能力、ならびに国際的に発信する言語能力を養います。また年次ごとに研究計画書と研究報告書を作成して、研究を主体的に構想・実行する能力とデザイン力をさらに高めます。また、2年次以降に博士予備論文を執筆して博士論文作成の準備を行います。最終年次には、自立した専門家としての独創性を備えた博士論文を完成させます。

### 【アドミッション・ポリシー】

文学研究科は、実証的な基礎研究に重点を置く文化形態論専攻と文化表現論専攻、および現代的な課題を研究する分野横断的な文化動態論から成り、多岐に渡る教育・研究を進めています。

文学研究科では、上記の大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ研究科のこの特質にしたがって、人文学の修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。試験は以下の方法により、人文学研究に意欲的な人を受け入れます。

1. 博士前期課程の一般選抜では、各専門分野における研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 修士課程の一般選抜では、各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および実践的応用力を考査する筆記試験と、問題意識、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
3. 博士後期課程の一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。
4. 社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。
5. 留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。